

長期間使用しないとき

ご使用にならない期間が31日以上するとき

貯湯ユニット、ヒートポンプユニットの水抜きが必要です。凍結のおそれがある場合、機器や配管が破損しますので、必ず水抜きを行ってください。お客様から依頼があった場合、下記手順に従って作業を行ってください。

ご使用にならない期間が30日以下の場合、取扱説明書の「不在時の沸き上げを休止する」に従ってください。


脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合

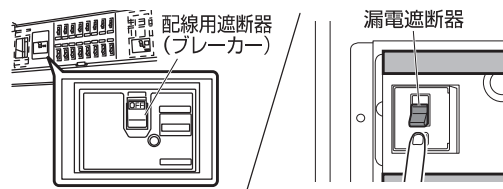
- 
- 1 前面のネジ2本を外す。
 - 2 脚部化粧カバーを真下に下げ、手前に引いて取り外す。

貯湯ユニット(タンク)の水抜き

●外気温が0℃以下になるような冬期は、排水栓が凍結して排水できないことがあります。このようなときは解凍してから排水してください。

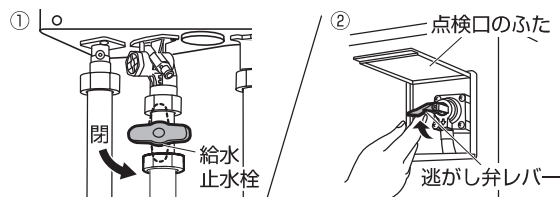
1 タンク内のお湯を水にする。

- 1 台所リモコンの  を押して、沸き上げ運転を停止する。
- 2 給湯温度を40℃に設定してじゃ口(湯水混合水栓)のお湯側を開く。
- 3 お湯を出した状態で配線用遮断器(ブレーカー)と、漏電遮断器を「OFF」にする。
- 4 タンク内のお湯が水になったことを確認する。



2 排水管、排水ホース(黒)からタンクの水を抜く。

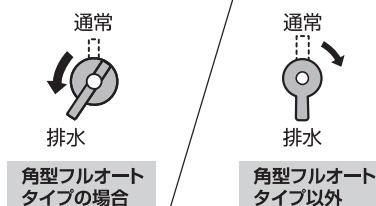
- 1 給水止水栓を閉める。
- 2 逃がし弁レバーを上げる。
- 3 排水栓(薄型は2カ所)を「排水」位置にする。
(排水時間の目安 角型：約1時間、薄型：約1.5時間)
- 4 排水が止まっていることを確認する。



警告

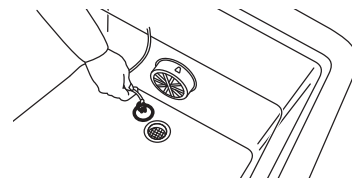
排水管、排水ホース(黒)や排水に手を触れない。
(熱湯などでやけどのおそれ)

排水栓位置







3 浴そうの水を抜く。

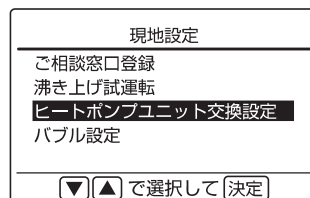
- 1 浴そうの栓を抜いて、お風呂を空にする。



ヒートポンプユニットの水抜き準備

(角型フルオートタイプのみ)

- 1 配線用遮断器(ブレーカー)と漏電遮断器を「ON」にする。
- 2 台所リモコンの  を約10秒長押しする。
- 3   で **ヒートポンプユニット交換設定** を選択して、  を押す。
- 4 設定完了の表示が出たら配線用遮断器(ブレーカー)と漏電遮断器を「OFF」にする。



必ず手順通りに行ってください。
水が残って凍結などで機械が破損するおそれがあります。

ヒートポンプユニットの水抜き

1 閉鎖弁カバーを取り外す。(▶23ページ)

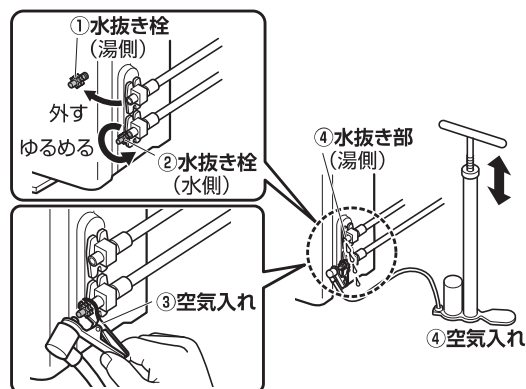
2 水抜き部(湯側)から水を抜く。

- ① 水抜き栓(湯側)を取り外す。
- ② 水抜き栓(水側)をゆるめる(1~2周程度)。
- ③ ゆるめた水抜き栓(水側)に空気入れを取り付ける。
- ④ 水抜き部(湯側)から、お湯(水)が出なくなるまで、空気入れで空気を送り込む。



警告

水抜き部(湯側)から勢いよく、お湯が出ることがありますので、やけどにご注意ください。



貯湯ユニット(配管)の水抜き

1 水抜き栓から配管の水を抜く。

- ① すべての配管の水抜き栓をゆるめて、水を抜く。
- ② ポンプ内の水を抜く。

角型の場合

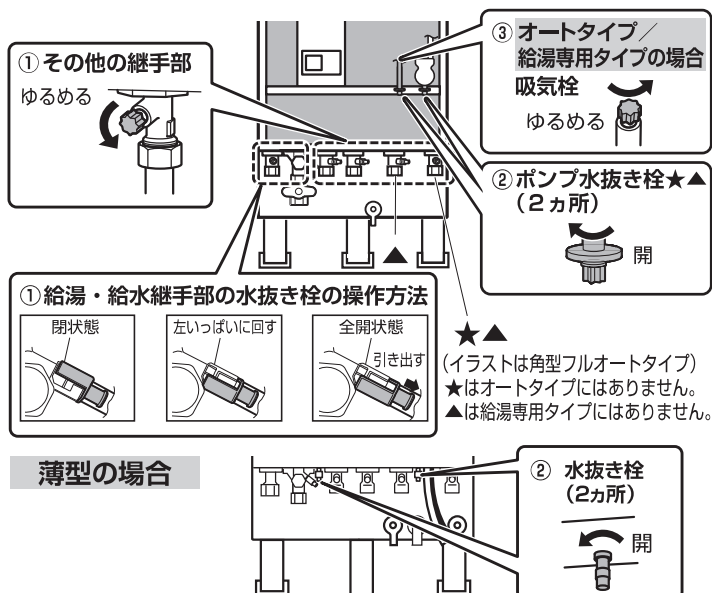
前板を取り外し(▶22ページ)、ポンプ水抜き栓(2カ所)を開けて、熱交換器内の水を抜く。

- 周囲に水がこぼれないようにバケツなどで受けてください。

薄型の場合

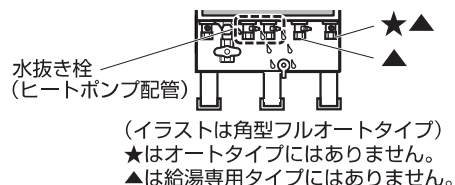
水抜き栓(2カ所)をゆるめて、水を抜く。

- ③ オートタイプ/給湯専用タイプの場合
吸気栓をゆるめて空気を入れ、残水を抜く。
すべての配管の水を抜いてから行ってください。



2 配管の水を空気入れで押し出す。

- ① ヒートポンプユニットの水抜き栓(湯側)を取り付ける。
- ② 貯湯ユニットの水抜き栓(ヒートポンプ配管)からお湯(水)が出なくなるまで、空気入れで空気を送り込む。

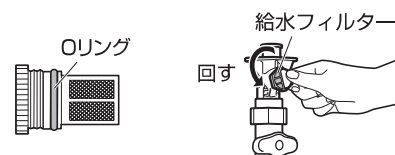


3 電源を一時的にONにし、残りの水を抜く。

- ① 配線用遮断器(ブレーカー)と漏電遮断器を「ON」にする。
- ② 約60秒経過後、水抜き栓(ヒートポンプ配管)から水が出ていないことを確認してから配線用遮断器(ブレーカー)と漏電遮断器を「OFF」にする。
- ③ 貯湯ユニットの排水栓(薄型は2カ所)を「通常」位置にする。
10秒以上経過後、「排水」位置にする。

4 給水フィルターを取り外し、水を抜く。

- コインを溝に差し込み、反時計回りに回して取り外す。
- Oリングに傷がつかないように注意してください。

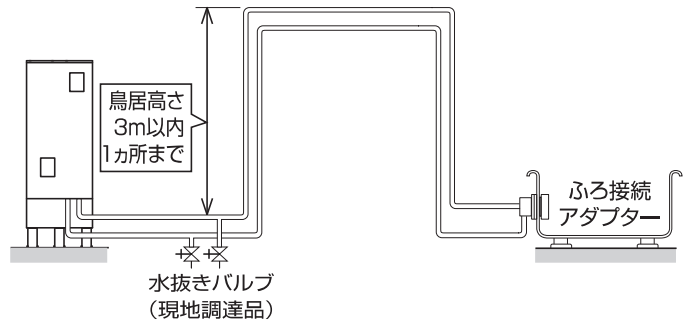


長期間使用しないとき

その他水抜き

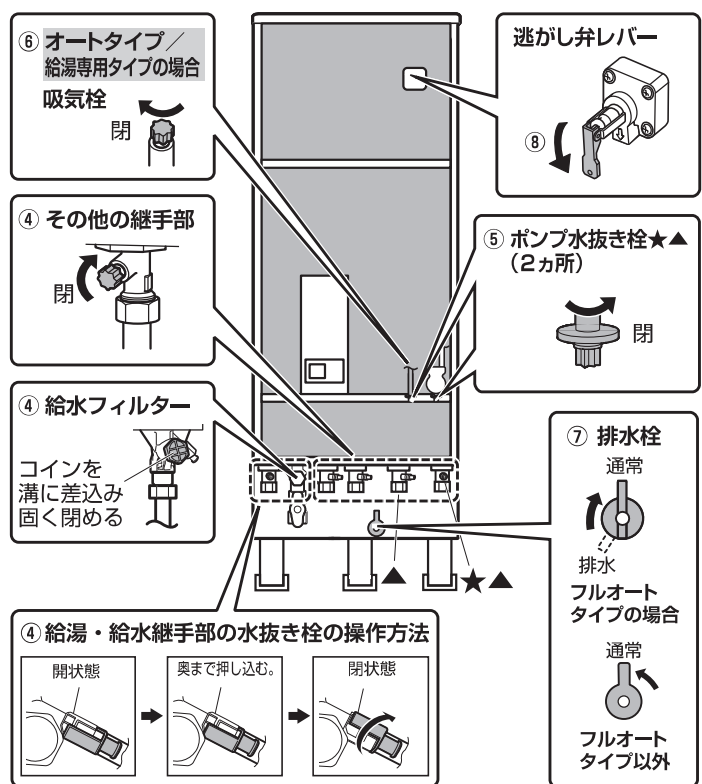
鳥居配管などで水抜きバルブが取り付けられている場合は、水抜きバルブを開いてください。

水抜き後は、水抜きバルブを閉じてください。



水抜き後に元に戻す

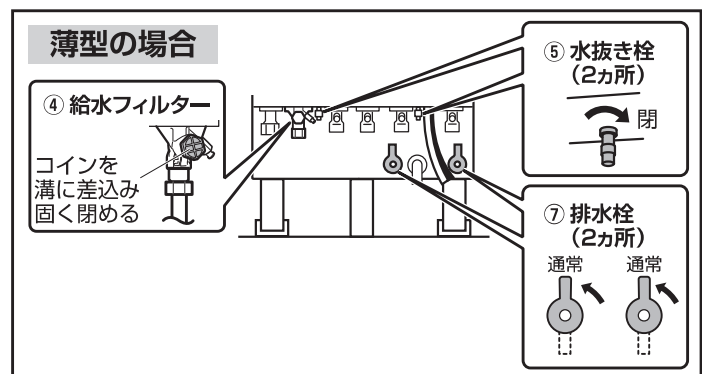
- ① 空気入れを取り外し、ゆるめた水抜き栓(水側)を手で閉める。
- ② 閉鎖弁カバーを取り付ける。
- ③ じゃ口(湯水混合水栓)のお湯側を閉じる。
- ④ 給水フィルターを取り付け、給湯配管、給水配管、ヒートポンプ配管、ふろ配管の水抜き栓を閉める。
- ⑤ **角型の場合**
ポンプ水抜き栓(2カ所)を閉める。
薄型の場合
水抜き栓(2カ所)を閉める。
- ⑥ **オートタイプ/給湯専用タイプの場合**
吸気栓を閉める。
- ⑦ 排水栓(薄型は2カ所)を「通常」位置にする。
- ⑧ 逃がし弁レバーを下げる。
- ⑨ 角型の場合は、前板を取り付ける。
(▶22ページ)



(イラストは角型フルオートタイプ)
★はオートタイプにはありません。
▲は給湯専用タイプにはありません。

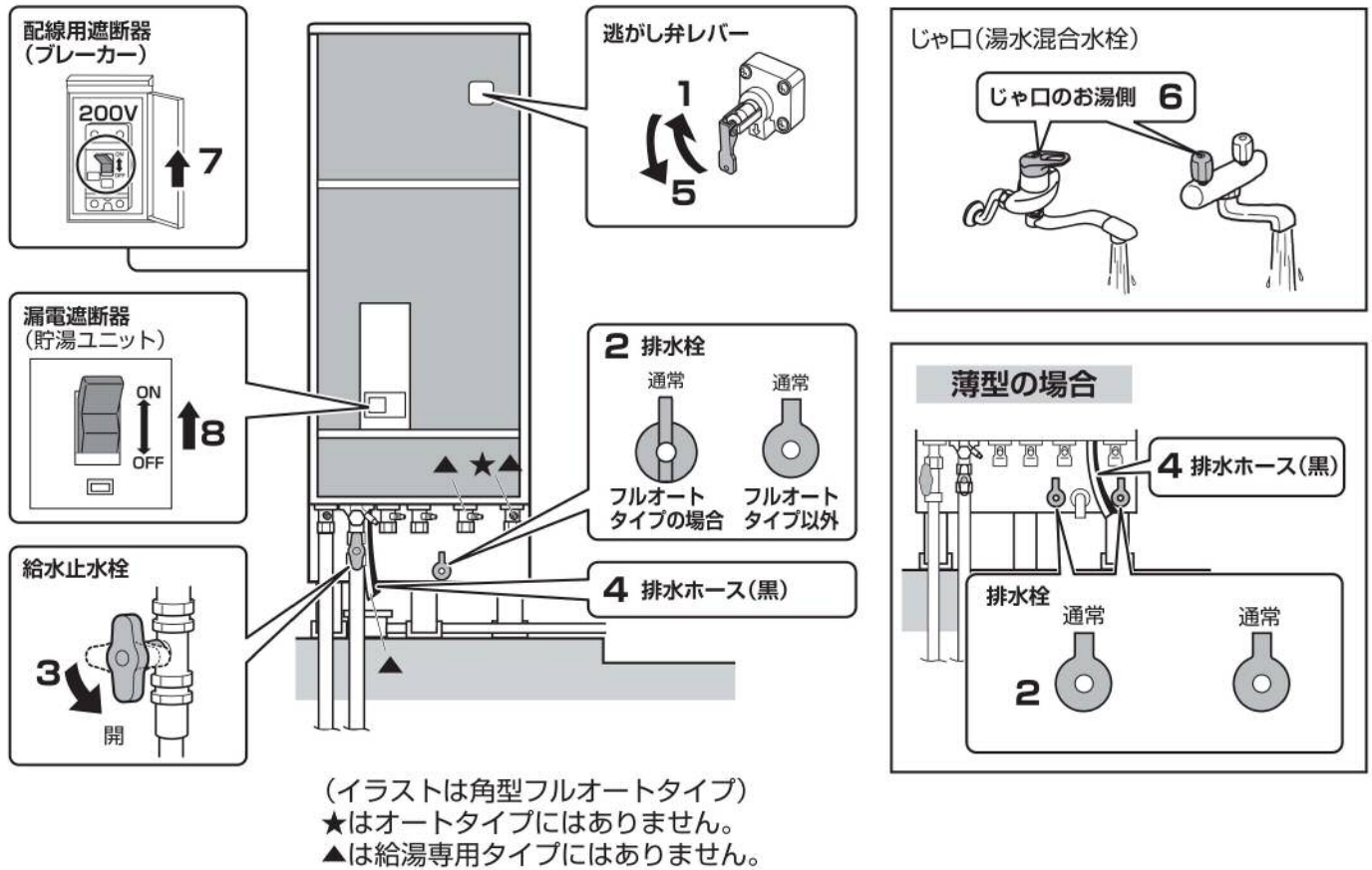
お願い

- 水抜き栓を閉めるときは手で閉めてください。工具などを使用すると、水抜き栓が破損する原因となります。



再びご使用になるとき

タンクのお湯を沸き上げる前に、以下の作業を行ってください。



脚部化粧カバー(別売品)を取り付けている場合は、前面のネジ2本(手で取り外せません)を外して、脚部化粧カバーを取り外してください。(▶48ページ)

ステップ1

貯める準備

チェック

- 1 逃がし弁レバーを上げる。
- 2 排水栓(薄型は2カ所)が「通常」位置であることを確認する。

ステップ2

貯湯ユニットを満水にする

- 3 給水止水栓を開ける。
- 4 排水ホース(黒)より連続的に水が出ることを確認する。
(空気混じりの水ではないこと。)
(水が出るまで約30~40分かかります。)
注)空気が逆止弁を通過するとき、笛吹き音が出ることがあります。
(満水になると止まります。)
- 5 逃がし弁レバーを下げる。
- 6 じゃ口(湯水混合水栓)のお湯側を開き、しばらく洗い流して閉じます。

ステップ3

運転開始

- 7 配線用遮断器(ブレーカー)を「ON」にする。
- 8 漏電遮断器を「ON」にする。
注)必ずタンクを満水にしてから漏電遮断器を「ON」にしてください。タンクを満水にしないと故障の原因になります。
- 9 現在時刻を設定する。
(取扱説明書をご覧ください。)
- 10 **エア抜き運転** を行う。
(▶42ページ)
- 11 タンクの空気抜きを行う。
(▶38ページ)
- 12 タンク湯量設定をする。
(取扱説明書をご覧ください。)